

快適な生活環境の確保に係る目標値（SPM）の対策

1 現状（環境目標値の達成状況）

- 平成 29 年度は 18 測定局のうち、2 局で快適な生活環境の確保に係る SPM の目標値を達成し、年平均値は一般局平均で $0.017\text{mg}/\text{m}^3$ 、自排局平均でも $0.017\text{mg}/\text{m}^3$ である。
- 過去 10 年間でみると、基準である年平均値 $0.015\text{mg}/\text{m}^3$ 以下であった測定局数は以下のとおりである。

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
局数	0/27	0/27	0/18	0/18	0/18	0/18	0/18	0/18	1/18	2/18

2 シミュレーション結果

<予測条件>

資料 2 - 2 「3 シミュレーション結果」を参照

<予測結果>（資料 1 の 12 ページ参照）

- 対策将来においても、平成 35 年度は全局で環境目標値を非達成、平成 42 年度は 16 局で非達成と予測された。
- しかし、平成 29 年度（実測値）の年平均値（全局平均）は $0.017\text{mg}/\text{m}^3$ であり、平成 35 年度の予測濃度とすでに同程度である。また、全測定局において平成 35 年度、平成 42 年度ともに減少傾向と予測されたことを考慮すると、今後、シミュレーション結果より減少する見込みがあると考えられる。
- さらに対策を進めることで、早期に環境目標値を達成できるのではないか。

3 効果的な対策の検討

- シミュレーションの予測条件とした対策を市として積極的に進める。

4 環境目標値の達成時期

- 今後、減少する見込みはあるが、環境目標値を達成する具体的な時期は明確でないため、達成時期については現行とおり「達成し、維持するよう努める。」とする。